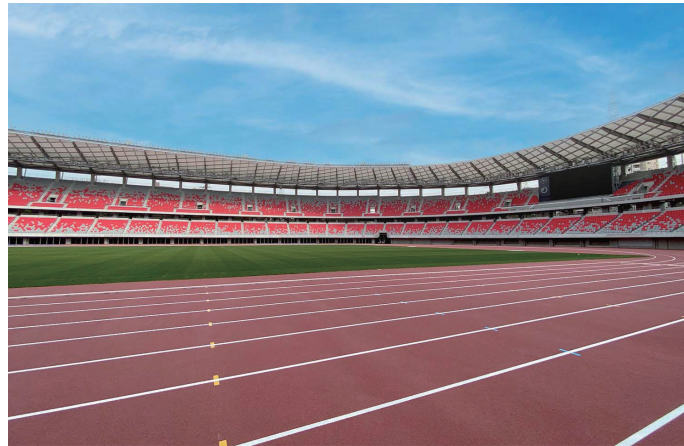


パロマ瑞穂スタジアム（名古屋市瑞穂公園陸上競技場）



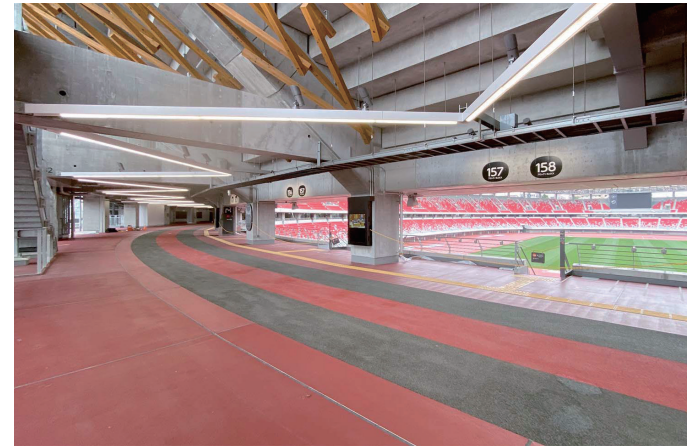
外観

新しく生まれ変わった「パロマ瑞穂スタジアム（名古屋市瑞穂公園陸上競技場）」。スタジアム3Fのコンコースが公園に隣接し、ジョギングコースや散歩道とシームレスにつながる、公園と一体化した施設となっている。



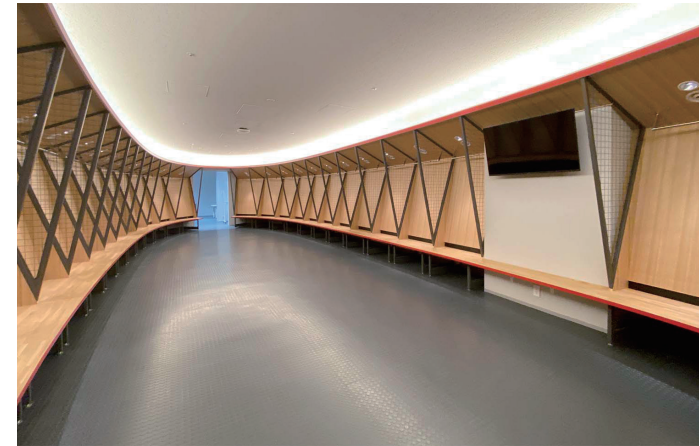
内観

トラックは、国際大会に対応する全天候型舗装を採用。観客席は雲をイメージした全席屋根付きで、天候を気にせずに観戦できる。最高のパフォーマンスを圧倒的な臨場感で満喫できる、次世代型のスポーツ拠点である。



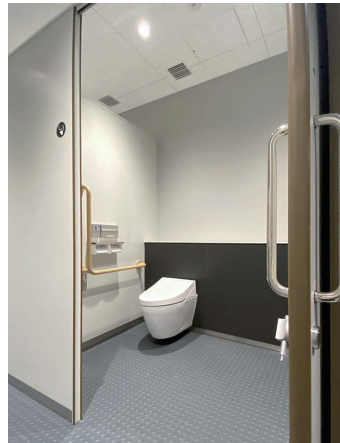
3Fコンコース

陸上競技場3Fコンコースはアクセスフリーとし、日常的な利用が可能。公園のジョギングコースや散歩道とシームレスにつながるよう、足元にコースが描かれている。



競技者用更衣室

競技場1Fに設けられた競技者用の更衣室。スパイクやトレーニングシューズのまま利用するため、滑りにくく耐久性のある床材を採用。個別空調や照明など快適な環境が整えられている。



競技者用更衣室 トイレ



更衣室と隣接したトイレも、耐久性のある床材を採用。器具は、床の清掃性に優れた壁掛式を選定。大便器の1ヶ所は、車いす使用者が開閉しやすいよう折戸を採用した広めのブースとし、L型手すりを設置している。



競技者用更衣室
シャワー室

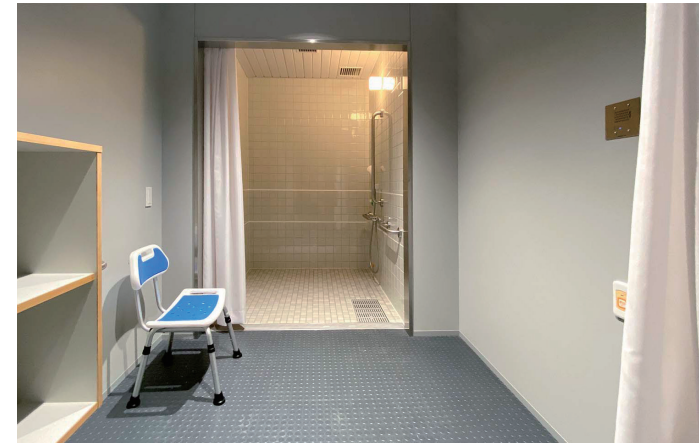
シャワー室には、激しい運動後のリカバリー（疲労回復）として、アイスバス（氷風呂）が可能な個別浴槽を2ヶ所設置している。



競技者用更衣室
シャワー室



7ブースあるシャワールームには、シャワー棚や手すりを完備。ブースの間をカーテンで仕切れるブースを2ヶ所用意し、広い空間で使用することもできる。



競技者用更衣室
バリアフリーシャワー室

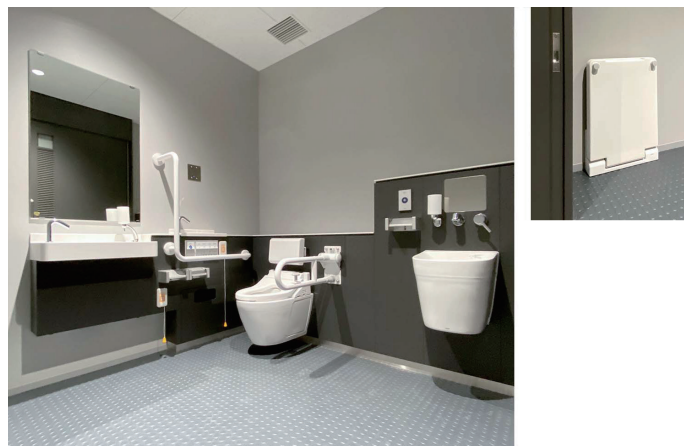
広めの更衣室を備えたバリアフリーシャワー室も用意。脱衣場には、荷物置き棚や呼出ボタンが完備されている。



競技者用
バリアフリーストイル 入口



競技者用男女トイレに隣接して、バリアフリーストイルを3ヶ所設置。左右勝手違いで配置し、扉にはブース内の器具や勝手違いがわかるレイアウト図を表示している。



競技者用
バリアフリーストイル

バリアフリーストイルには、車いす使用者やオストメイトに配慮されたコンパクト・バリアフリーストイルバックを採用。着替えができるようフィッティングボードも設置している。



医務室



万一のケガや病気に備えて、トラックから直接出入りできる医務室を完備。医務室内には、バリアフリーストイルを設置し、車いす使用者やオストメイトに対応できる設備を設けている。



ドーピング検査室



大規模イベントなどの国際基準に則り設けられた、クリーンで公平な競技環境を守るためのドーピング検査用の部屋。中が見えるようガラス扉のシャワー室と、前室を設けたバリアフリーストイルが設置されている。

パロマ瑞穂スタジアム（名古屋市瑞穂公園陸上競技場）



2F 男性トイレ 入口



トイレは、スタジアム特有の混雑緩和を図るため、入口と出口を分ける1WAY（一方通行）の動線を採用。入口に、一方通行の説明や設置設備が確認できる触知図を掲示。使用しない時には閉扉できるようになっている。



2F 男性トイレ
おむつ替えスペース



床には、ブース空きの待機時に並ぶ位置やこの先に設置している器具を床サインで表示し、わかりやすく誘導。また、入口付近におむつ替えスペースを完備している。



2F 男性トイレ
大便器ブース



白基調の空間に、ブース壁のグリーンがアクセント。並び列から、そのアクセントカラーにより、空き状況がわかりやすくなっている。広めのブースには、さまざまな利用者に配慮して手すりとベビーチェアを設置した。



2F 男性トイレ
小便器コーナー

小便器は、床の清掃性に優れた壁掛け型の自動洗浄小便器を採用。荷物配慮として小便器の間にフックを設置。アイランド型の洗面コーナーを中央に配置し、お子様の利用に配慮して1ヶ所を高さ550mmにしている。



2F 男性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー



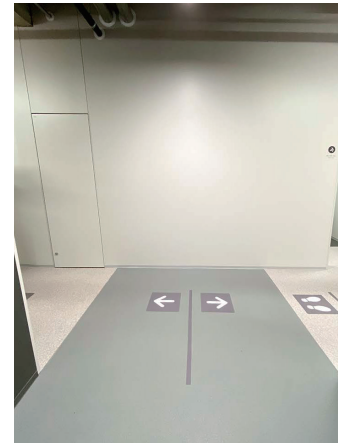
洗面コーナーの1ヶ所には手すりを用意。さらに、車いす使用者が使用しやすいよう、大きめの鏡を採用している。男性トイレにも、身繕い配慮および混雑緩和対策の一環として、スタイリングコーナーを設置している。



2F 男性トイレ 出口



トイレ利用時における一方通行のスムーズな誘導が図れるよう、出口の壁には「出口専用」のサインを表示している。



2F 女性トイレ 入口



女性トイレは入口からすぐに2方向に分かれ、それぞれが一方通行の動線。入口のそばには幼児用小便器とおむつ替えシートを設置したキッズトイレを配置。フィッティングボードを備えた着替えスペースも用意されている。



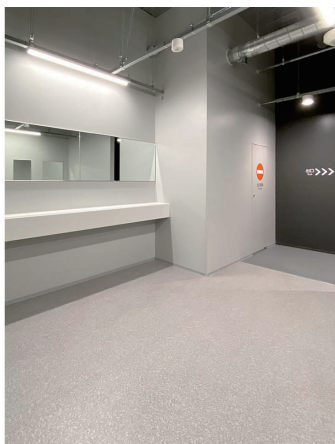
2F 女性トイレ
大便器コーナー



女性トイレの大便器ブース壁のアクセントカラーは、オレンジ。ブース入口には、設置されている器具をピクトグラムで表示している。また、広めのブースは折戸を採用し、開口は950mmを確保している。



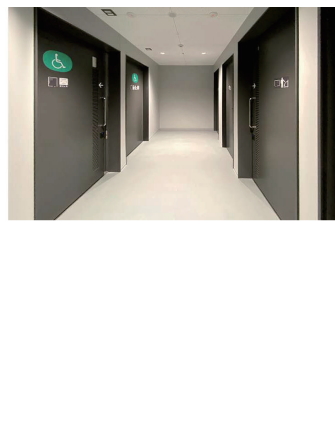
2F 女性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー



洗面コーナーの1ヶ所は、お子様の利用に配慮し低めに設置。スタイリングコーナーの鏡は、複数人が同時に利用できるよう一面鏡としている。



2F バリアフリースイレ・
着替えブース



2Fには、バリアフリースイレ2ブースと着替えブース3ブースをひとまとめたコーナーを、2ヶ所設置している。



2F バリアフリースイレ



左右勝手違いで設けたバリアフリースイレのうち1ヶ所には、オストメイト対応の汚物流しを設置。また、発達障がい者に配慮し、数を数えて待機できるように数字のアイキャッチとなるアートを表記している。



2F 着替えブース



フィッティングボードを設置した着替えブースは、小さめのブース2ヶ所と、引戸の扉で広めの空間を確保したブース1ヶ所で構成。選手や観客が着替えをする際に利用される。

パロマ瑞穂スタジアム（名古屋市瑞穂公園陸上競技場）



3F 北東デッキ トイレ



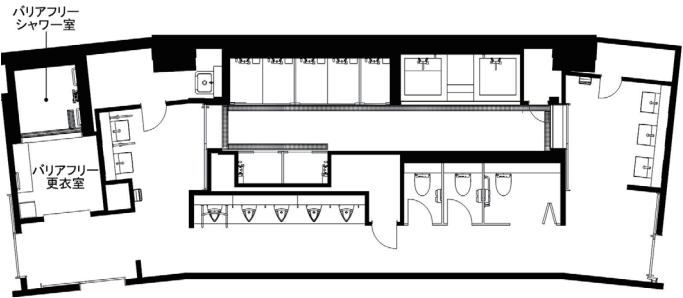
北東、南東、西デッキ、それぞれにトイレを設置。3F北東デッキは、バリアフリートイレ6ブースで構成。イベント非開催時は、スタンド外側通路から入室できるが、開催時は入室できないよう扉を閉めている。



3F 北東デッキ
バリアフリートイレ



6ブースのバリアフリートイレは、それぞれに汚物流しや収納式多目的シート、フィッティングボードを分散して配置。また、一部には介護を必要とする利用者のプライバシーを確保するためのカーテンも完備している。



競技者用更衣室 水まわり図面

競技者用の各更衣室と隣接している水まわりは、チームごとに使用。トイレや洗面コーナー、シャワーブース以外に、アイスバスやバリアフリー更衣室、バリアフリーシャワー室が設置されている。



3F 北東デッキ
バリアフリートイレ



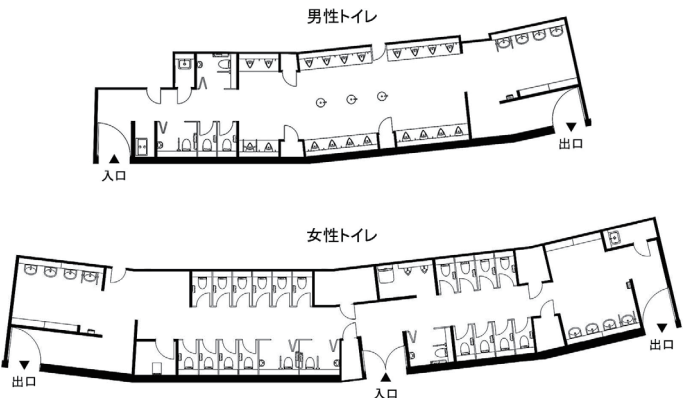
6ブースのうち2ブースには、視覚障がい者に配慮して、非接触型の音声ガイダンス装置を設置。また、車いす使用者でも扉の開閉がしやすいよう、取っ手が2ヶ所ついた引戸を採用している。



3F カームダウン室



興奮やストレスを落ち着かせるカームダウン室は、空調管理されており、外部の音をなるべく遮断できる設え。扉には、サインと「この部屋は気持ちを整めるための部屋です」という説明を併記している。



2Fトイレ図面

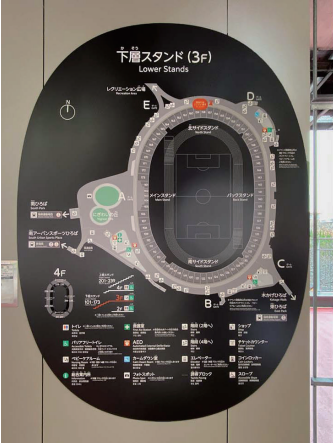
スタジアムのトイレは、特有の混雑緩和を図るため、入口と出口を分ける1WAY（一方通行）の動線。女性トイレは、入口から入った後、左右に動線が分かれるレイアウトとなっている。



ベビーケアルーム



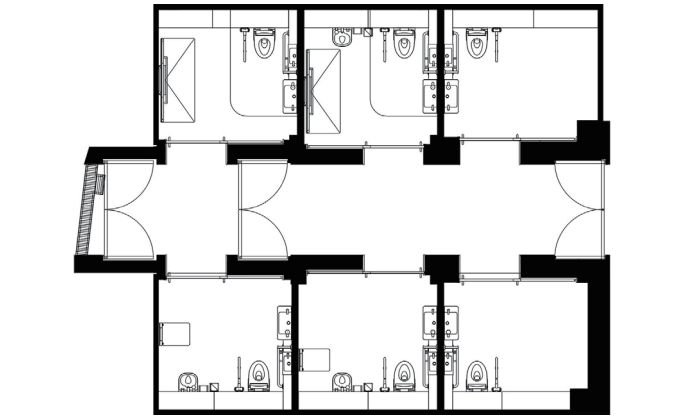
乳幼児連れに配慮したベビーケアルームには、おむつ交換台や調乳用温水器のほかに、女性専用の授乳室を設けている。



案内図・サイン



スタジアム内のさまざまな場所に、案内図やトイレの位置を示したピクトグラムを掲示。ピクト表示は、トイレや授乳室、エレベーターまでの距離もわかるように表記されている。



3F北東デッキ バリアフリートイレ図面

3F北東デッキには、6ブースで構成したバリアフリートイレを設置。イベント非開催時は、スタンド外側通路から入室できるが、開催時は入室できないよう扉を閉めている。

水まわりの特長

建物の特徴

名古屋市の瑞穂公園に立地する「パロマ瑞穂スタジアム（名古屋市瑞穂公園陸上競技場）」は、1941（昭和16）年に、日本陸連第1種公認の陸上競技場として開場。施設の老朽化やバリアフリー化、観戦設備の不足といった課題の解消と、2026（令和8）年秋に開催される第20回アジア競技大会のメイン会場に決定したことを機に、約3万席を完備する全席屋根付きの次世代型スタジアムとして建て替えが実施された。さらにアジア競技大会以外にも、Jリーグチームのホームスタジアムや陸上日本選手権の開催場となるなど、中部地方のスポーツ振興の新たな拠点となる。建物は、スタジアムのコンコースが隣接する瑞穂公園内のジョギングコースや散歩道とシームレスにつながり、大会がない日も市民が自由に利用できる。

水まわりの特長

スタジアムの特性から、トイレは混雑緩和を図るための配慮や対応を充実。主に観客が使用する2F男女別トイレは、入口と出口を分ける一方通行を採用し、スムーズな動線を確保。競技者用と観客用の大便秘器はともに、連続洗浄が可能なフラッシュタンク式の大便秘器ユニットを設置している。お子様連れへの配慮としては、男女別トイレの洗面器の高さを一部低くしたり、乳幼児用器具を設置。さらに、女性トイレには幼児用小便秘器も完備している。また、バリアフリートイレは、さまざまな利用者に対応できるよう、左右勝手違いでの設置やオストメイトに配慮した汚物流し、収納式多目的シートなどを採用し、スタジアム全体で機能を分散して配置している。

写真撮影日:2026/4/2(外観画像)・2026/3/2(その他の画像)

建築概要

名称	パロマ瑞穂スタジアム（名古屋市瑞穂公園陸上競技場）
所在地	愛知県名古屋市瑞穂区山下通5-1ほか
施主	株式会社瑞穂LOOP-PFI
運営	株式会社瑞穂LOOP-PFI
設計	日本設計・竹中工務店・ブレック研究所設計共同体
監理	日本設計・ブレック研究所工事監理共同体
施工	株式会社竹中工務店 名古屋支店
竣工年月	2026年3月
敷地面積	約140,000㎡（スポーツパーク全体）
建築面積	約28,600㎡
延床面積	約61,500㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート、一部鉄骨造・地上6階

おもなTOTO使用機器

大便秘器ユニット:UTNCAA
ウォシュレット アブリコットP（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5831
ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5524
棚付二連紙巻器:YH702、YH700AD
小便器ユニット:XPUTNFN、UTNUBN
ハイドロセラ・フロアPU:AB690BR
洗面器ユニット:UTNLRA
洗面器:LS703
壁掛洗面器:L250C
台付自動水栓:TLE26系、TLE28SS2A
クリーンドライ（ハンドドライヤー）:TYC420W
バリアフリーユニット:UTNDAA、UTNDBA
収納式多目的シート:EWC520ARN
幼児用小便秘器:U310
ベビーシート:YKA24N
ベビーチェア:YKA15S
フィッティングボード:YKA41R
パブリック用手すり:T112CL9、T112HK6R、T112CU22、T112CP9R、T112CP21